



俳諧
觸

乾



~5
6667
1



へ5

6667

1

之思一言しつゝあつと申すのさか
 の筆紙を私を構のむかひの紙
 之をよふくも枝のまじりては
 花の匂ひよふくもさうりし
 中にお掛る五七のまじりし
 し久しつゝひ席のせ
 影をさすはけの影を
 をしよ、しよ、かざりぬ

ひしよ、しよ、かざりぬ

文化

甲子仲冬

休

南山



Vertical columns of faint cursive calligraphy (sōsho) in the background, mostly illegible due to fading.

央橋庵

其角坐深川

宝井

Vertical columns of faint cursive calligraphy in the upper left section of the page.

Vertical columns of faint cursive calligraphy in the lower left section of the page.

鶴歩庵
 深川春堂
 千尋の淵に
 面々のくく
 峯のちきり
 夕まやうら
 石のくく
 笑縄咬る
 葉のふ小月
 夢葉才と逆
 氷馬坊の
 鬼筆の里を
 秋律のくく
 申くく
 万年者の
 傍揚と鐘と
 言尾の虫

千尋の淵に
 面々のくく
 峯のちきり
 夕まやうら
 石のくく
 笑縄咬る
 葉のふ小月
 夢葉才と逆
 氷馬坊の
 鬼筆の里を
 秋律のくく
 申くく
 万年者の
 傍揚と鐘と
 言尾の虫

鶴歩庵

二のうのくく
 中 秋 衣
 水辺 買色
 植物 牡丹
 様 葦
 杖の花 女房花
 冥相 魂系
 生才魂 牛
 馬 蟹
 狐虫
 は奈ハ十六八人を
 又今他まく

深川春堂

幕 小 洞 び 小 匠 海 々 果 次
 様 々 小 洞 び 小 匠 海 々 果 次
 子 の 狐 小 様 小 覚 小 海 々 妻
 筑 の 齧 の 泡 小 葉 師 花
 盆 小 花 抽 浮 小 々 何 鏡
 聖 乃 忌 日 小 々 何 小 振 毘
 群 蟹 の 下 浮 の 觸 鬚 師 小
 脛 小 々 小 男 小 小 小 尻
 州 小 々 小 小 小 小 小 小 小 小
 夕 小 々 小 小 小 小 小 小 小 小
 賣 小 小 小 小 小 小 小 小 小
 秋 林 小 古 鏡 小 流 小 尻 二 人
 翁 地 小 寺 乃 墓 小 狐 虫
 幕 小 皇 殿 社 小 秋 文 小

九十九
 六十八
 六十七
 六十六
 六十五
 六十四
 六十三
 六十二
 六十一
 六十
 五十九
 五十八
 五十七
 五十六
 五十五
 五十四
 五十三
 五十二
 五十一
 五十
 四十九
 四十八
 四十七
 四十六
 四十五
 四十四
 四十三
 四十二
 四十一
 四十
 三十九
 三十八
 三十七
 三十六
 三十五
 三十四
 三十三
 三十二
 三十一
 三十
 二十九
 二十八
 二十七
 二十六
 二十五
 二十四
 二十三
 二十二
 二十一
 二十
 十九
 十八
 十七
 十六
 十五
 十四
 十三
 十二
 十一
 十
 九
 八
 七
 六
 五
 四
 三
 二
 一

奇々庵

強弱文之
 の変化す一之別
 竹心者下と又合
 神 秋
 病併 病併
 茶州 茶名
 買色 軍併
 忠告 考り
 昨才 平可
 新別 捕者
 不穂 美士名
 焼香 川守
 戒名 梣
 崎 街白洲

之命びしぬ霊障の標才
 鯉 雲をくく生れぬき寸
 命 拾ひの帆 小高なる修き
 後 二丁の紙小出さる仲の丁
 綱 曳の中と可伝尼の葛籠
 茶 小汲小まゝの粉小活川
 帆 之具火神の中く破証
 寺 小命を拾ふ役 軍
 磨 小庵小打るまの
 街 高の庵丁と活初の魚
 人 小高なる香く命の牛
 蚕 小の餅まゝの延 替礼
 豆 荷のふと取のさ念仏
 部 高 中をと 具相の 前
 小 川 高 指と切ら 交 前

深川紀逸

夫ととにの者の徳 什
 類るけうくは買かひ
 一 びきふ夫の心 何セ
 教 小結納と交 後悔
 き 夷 坂の 色ハ 藍
 桶 之木と功名小 切
 福 小 又 又 又 又
 沢 世のき 小 小 小 小
 大 造 小 葬 礼 小 け 小 尾 小
 き 小 小 小 小 小 小 小 小

木音毒
〇分七

松の根より雷の蟻
死くも笑氣身代り乃そ
夢屋まじり廊か玉性
未の飯搦め終乃云家以
は少多小おさんとも明王
こるも出系くけー強盜
生れと玉の字か入ぬ倍
肩写小底めふるき川強
ふボ苗と顔のまッ青
川除く夢清丁場万兩
日平の虎小之韓ハ粉ナ
書まほふ字ふるく生死
心ハ夢と欠也る儒志
縄付通ハ家之眼乞一
下痺の療治現合て巻ら
尾花のホ小川家の徳

梧月庵

神 親
種知 道
買色 様
所 系
松 系
梧月庵
英人

深川春色

三じ 蝶の顔と柳と深ら長
煉くまやうう小おらり梅下
やきくか一層ちんく枝の花
風涼 並小移舟の灯の走り
汐星中 小千鳥のささく水く
おへの稲く干くや燈口
摺りけら舟移舟とあきさ
茶のた小けりきあきさの香
蓮 咲や着る比のあがりけ
号小弓弦の響く大矢教
下戸新ぬ人ささくけし角田の
思終とくささく小あてり
関ののの償涼 けき川を
東今くけりけり紐文のよま女房

此書は...
 凡そ...
 其の...
 一...
 二...
 三...
 四...
 五...
 六...
 七...
 八...
 九...
 十...

望せしるる... 南に... 門
 折小お亭し... 八兵衛
 破戸弓不... 走るしをり
 氷碎く... 流る... 士
 廿日又... 九の里
 後海月... 唯の...
 一... 乃 明智光秀
 明智... 運七小栗栢の...
 下戸の... 千代田宝田
 再寺... 古
 母... 懐く... 系
 即... 令其... 係
 い... 又... 門
 意... 強... 門
 之... の... 下...
 晋子... 七... 類

尾運堂訓書
 中... 山... 台...
 花屋久次郎

訓詁
 京都... 山... 台...
 大... 人... 書... 成...

四季發句帳
 京都... 總... 宗... 延... 發... 句...
 追加... 諸... 君... 御... 句... 入...

家雅見種
 南山... 著...
 江戸... 總... 宗... 也... 宿... 所...
 本... 枝... 筆...
 反... 故... 齋... 果... 然... 著...
 高... 点... 一... 中... 一... 卷... 宛...

聖阿利...
 全... 後... 編...
 全... 上...

薄呂谷川
 全... 後... 編...
 全... 上...

多嘉津句帳
 全... 後... 編...
 全... 上...

辨書目

遠筑波
 存... 義...
 一... 三... 歌... 仙...

古來庵句集 在義

野槌 在義

初鴉 在義 則高 點頭書洲

櫻合子二歌仙 在義 則高

ぬき 在義

節墨 在義 則高 並 點頭書洲

日 可因

かき新 可因

山 可因

古來庵句集 可因 著 後篇 近刻

長 可因

に 可因

春 南山著

春草集 南山著

俳諧三代集 在義 則高

雙後路談 其用坐宗近 劉像 著 發句

吾妻 金羅 貞高 列身

野々錦 吉門 貞高 句集

雙喜會儀 在博 催千 句 總評 貞高 句

志 祇德 貞高 句集

杵音問答 其用 素來 訓論 著

小 以戶 五十 評 貞高 著 退任 著

俳諧 平砂 側 十歌 仙

附合 貞高 部類 右平 砂 撰

樓川句集 鶴口 撰

田父句集 上同

買明句集 實義 撰 近刻

俳諧 平河 未道 撰 不言 貞高

非書月

正風 俳諧得道解 寬義著

俳諧百轉集 桂山俳道 録書

鶏口發句集 同列 句帳

松江 鶏口附合

きりふし紙 鶏口集 五年自詠 泰甲

兩判月並句集

花鳥合 室馬独吟 十二歌仙

才營發句集 室馬撰

室馬撰

室馬撰 十五評書

室馬撰

扶色庵野菫撰

室馬撰

室馬撰

綾錦集 菊岡治涼撰 古今宗也系譜

全後編 近刻

誹風柳樽 川柳乃句合鳥也書

誹風柳樽 每年一卷完出版

撰樽拾遺 石川柳樽撰 改著 柳篇 十篇出本

全末摘花 全人乃句合末刊之可矣 初篇 三篇出末

万句抄 平抄宗匠乃句合 萬句抄 初篇 三篇出末

江戸四天王 初篇 三篇出末 燕志月並發句集

若眼鏡 露一撰 聞道貝ノ歌仙入 蕉翁渡唐之像 石石

俳諧百十草 文未定
同折花集 海鏡亭用今

同如是俳 在轉宗也
同千々々佳解 立志

遊覽志 羅編行曾外著
心華以心 退任學士五新

山東遊覽志 葛原著
後篇出集

近在所名集 此江近在二浪、又東海道
全後編

礎 漁著
増補俳諧礎 今

百合花 堤亭一万句、高足
種々々志 高判

俳諧二冊子 石山著
百十鳥 園女發句
高判

同上里獨步 素續著
同年代記 素續著
委細記

同器新集 得器宗近
同後編 全
出来

桑林 岩松著
俳諧菅茅野 平砂著
聖廟御年四集

俳諧五萬句 得器著
二見浮文臺記 南山著

か心接徳の核 南山著
南山著

俳諧

○靈門俳書類目錄

俳諧句艸紙

牛心著
画入發句
歌仙

同拔萃

同
廣天滿宮奉納
額面之發句

靈門發句帳

同
一列之句著

靈のり三編

近刻

一陽井素外先生著

鷄談窓藏

梅翁發句集

類句辨

ハク、リ類句ヲ並テ
見及キヨウニセシセ
ル也

江戸川

是上倉狐取ノ句ナ
前句一ニテ具徳淀川ニ
做ヒ素外中數ノ附包也

五色梅

素外連中梅題發句

右倉狐
素外拍掌十句

蒼狐席々取ノ附句ヲヒビ
素外ノ句ニテ續リ十句トセル也

一物連歌

室子未分洋海並龍虎
得念同連連地とつく
各極峰云仙

古今七夕發句集

ヒタノ色紙短
尺ノ書ヤ人キ
ムアノハ人

紀行春隻

素外東海道
佐菜ノ地

天狗の句

龍室一第ノハ
ノ記

手白化

一陽井評物
高貞

百貫樋

素外一第ノハ
高貞

猿筑波集

附合貞句前句并
部分著

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

俳諧十歌儂 五毛 晏 晏 晏
目 卷 英

同神田集 文仙古今發白
神田廿庵梅

依沼社松梅 平砂例附合
点句下流葉

同沖の梅 同上
同人集

望花勝覽 志書 望小堂并
攝道 亦有依撰

[Faint bleed-through text]

[Faint bleed-through text]

東武多少庵俳書目

東叡山下竹町
星運堂 花屋久次郎

鹿島紀行

芭蕉公羽真蹟正寫并蕉門發句等

其葉裏 松籟庵終焉記并
百負哥仙墨發句
多少庵秋瓜撰

心と心 風菊房古珍四季百句并
附合發句

夷川首途 同門四季發句 秀撰
并哥仙
松月庵遊之撰

續面時鳥 同門郭公句并百負
多少庵撰

兒手拍

奕林 希因 梅路 麻父 涼袋
其外兩吟哥仙并發句

連磨堂 案山子撰

句競秀撰 白蓮磨見風
多少庵秋瓜 兩評書

柙居發句集 抱山守門瑟撰
松籟庵

甲子吟行

芭蕉翁真筆
波靜撰

大無發句集

松籟庵撰

俳書目

如木以春

柳居傳系并句集
秋瓜撰

寬政百負多少庵句集

是、多少庵連中附合
四季發句并連中諸君子句入
全部二卷

同句集後編

附錄附合并
四季發句集

全部一卷

其若身

其若身句集

其若身

其若身句集

其若身

其若身句集

東尾多少庵句集

東尾多少庵句集

